

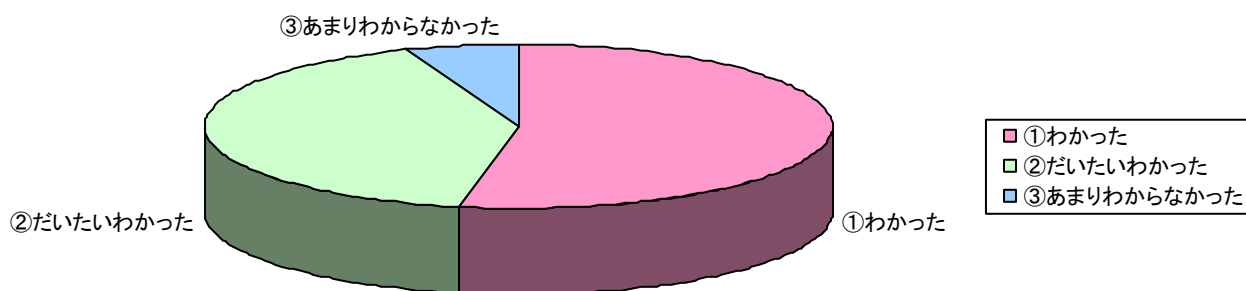
(仮称)地域協議体・南部モデル会議 アンケート集計結果

【実施日】 平成26年1月16日(木)

【回答者】 第3回(仮称)地域協議体・南部モデル地区会議参加者

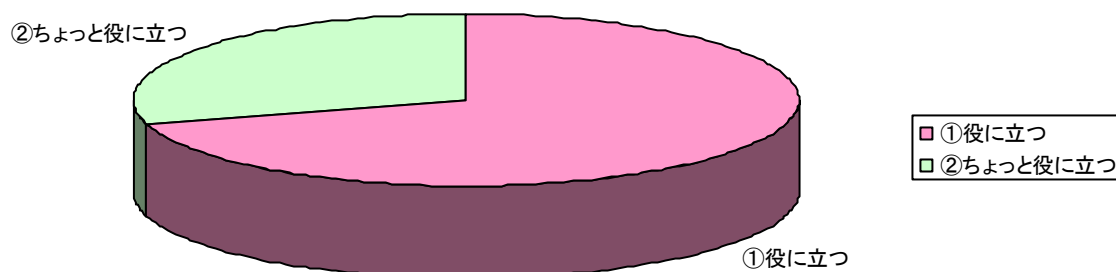
【回答人数】 17人

1. (仮称)地域協議体は、「地域の団体同士が話し合いをする自主的な組織」ですが、その目的についてはわかりましたか。



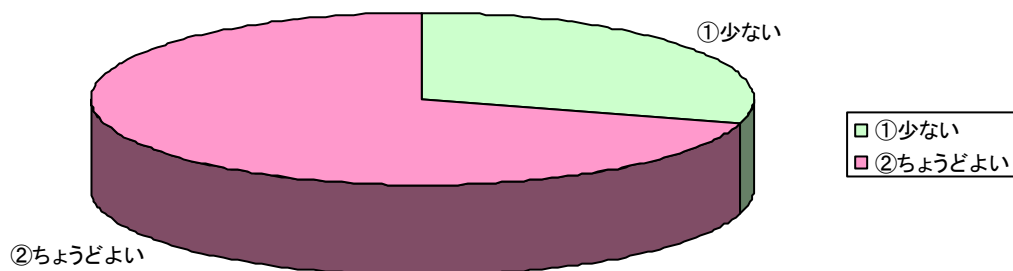
①わかった	9人(52.9%)
②だいたいわかった	7人(41.2%)
③あまりわからなかった	1人(5.9%)
④わからなかった	0人

2. 今回の3回の会議に参加してみて、地域協議体という住民組織は役に立つと思いませんか。



①役に立つ	12人(70.6%)
②ちょっと役に立つ	5人(29.4%)
③あまり役に立たない	0人
④役に立たない	0人

3. この会議を、1年間に3回程度の開催(4か月に1回)というのは、妥当な回数ですか。



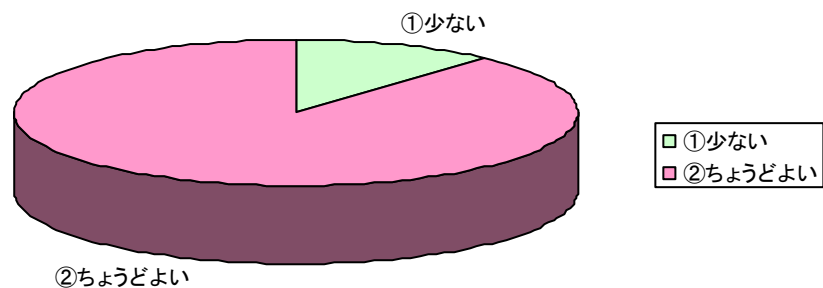
①少ない	5人(29.4%)
②ちょうどよい	12人(70.6%)
③多い	0人

4. 上記3の設問で、①、③を選んだ方のみにおたずねします。

何回ぐらいがよいかご記入ください。

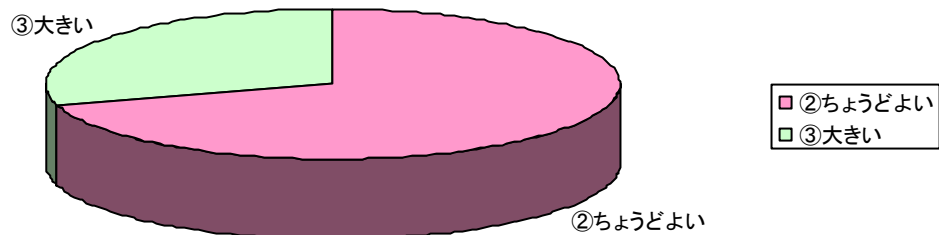
6回 と回答した方が**4名**

5. 会議の参加者の人数はいかがでしたか。



①少ない	2 人 (11.8%)
②ちょうどよい	15 人 (88.2%)
③多い	0 人

6. 南部地域を含め、市内を 4 つの地域に分けて 4 つの(仮称)地域協議体を設立する予定ですが、地区の大きさはいかがですか。



①小さい	0 人
②ちょうどよい	12 人 (70.6%)
③大きい	5 人 (29.4%)

7. 上記6の設問で、①、③を選んだ方のみにおたずねします。

どのくらいの地域の大きさや地域の区分けがよいと思いますか。

◆8区分

◆6区分

◆3～4区分每程度

◆町単位

8. この会議で話しあってみたいテーマがありましたらご記入ください。

◆横のつながりを強くするにはどうしたらよいか……………2人

◆どうやったら地域住民が交流することができるか……………1人

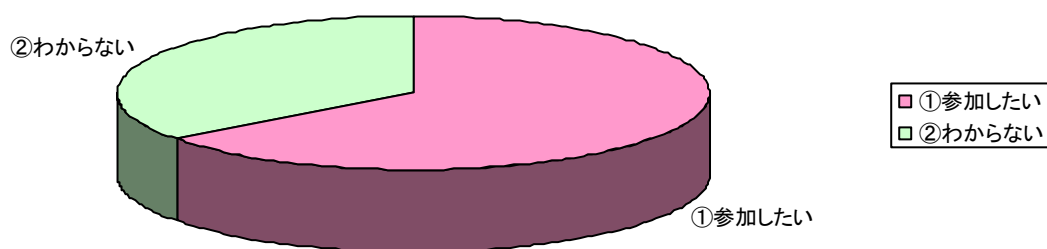
◆異世代交流について……………1人

◆50～60 歳ぐらいの方を集めるには、何をしたらよいか……………1人

◆自治会の活性化……………1人

◆災害対応一本を具体的に進める……………1人

9. この会議が、平成 27 年度に南部地域で本格的に設立の際には、
貴団体は参加したいと思いますか。



①参加したい	11 人(64.7%)
②わからない	6 人(35.3%)
③参加したくない	0 人

10. この会議についてのご意見や感想を、どうかご自由にお書きください。

◆いずれ起こる大規模災害を考えても、無理のない範囲で、各団体がつながっていくことが不可欠だと思います。

◆とても良い取り組みだと思う。最初は強制でも、この様な会議体は必要だ。

◆様々な方々との意見交換、話ができ良かった。

◆このような異なる種類の団体が出会う場は必要だと思います。

◆地域活動を実践していくうえで、とても参考になりました。ありがとうございました。

◆毎回工夫をこらして準備されたのだなあと感じました。

◆なかなか難しい問題だと思いました。

でも、何もしないでいるよりも、何かをしないと進まないですね。

◆きっかけづくりを、ありがとうございました。

◆初回など酒などまじえた懇親会があると良い

(10 回会議するより理解が進むと思います。)

◆地域協議体の連携のための代表者会議をもつことはどうか。

- ◆南部地区住民の生活圏は武蔵野市に依存している部分が多い。この点を考慮した行政の行動を期待したい。
- ◆時間不足でつまみきれない。
時間を多くした方が良い。……………2人
- ◆夜ではなく、休日・土曜日の昼間にしてほしい……………2人
- ◆昼間に開催できるとよい。

